資料１－１

■報告　・新小樽（仮称）駅　駅前広場について

1　現状と課題

・平成３０年度に実施した地形測量により、現地の高低差や道道の縦断勾配の状況が判明し、駅前広場レイアウト案（駅北側市道整備案）の課題が明らかになった（表１及び資料１－２）。

表１　駅前広場レイアウト案

整備コンセプト	・「バス・タクシー」と「自家用車」バース区域の独立 ・駅前広場から中長期駐車場等への通過交通の分離
道道出入口	３箇所 （❶中長期駐車場用、❷バス・タクシー用、❸自家用車用）
駅前広場の高低	高低差（段差）あり（H＝1.0～2.0m） （自家用車バース区域（上段）／バス・タクシーバース区域（下段））
駅舎施工基面高	標高 83.3m（現地盤高＋約 2m）　※ 協議中
課題	(1) 自家用車用出入口部（❸出入口部）における道道の縦断勾配が 4.7%であり、道路構造令の規定（2.5%）を超過する。 (2) バス・タクシーバース区域と自家用車バース区域間に高低差（段差）が生じるため、駅前広場内に擁壁工が必要となり、各区域間の移動のための階段とスロープが必要となる。

・現在、レイアウトの修正について検討中であるが、自家用車用出入口や短期駐車場の位置、各バースの配置などが変更となる可能性がある。

2　今後の予定

・令和２年度中のレイアウト修正の完了に向けて、北海道及び公安委員会との協議を進める。
・レイアウト修正が完了次第、本協議会にて報告する。

表２　令和２年度以降の予定

時期	予定
令和２年度	レイアウト修正の完了
令和３～４年度	大規模事前評価
令和５年度	都市計画決定（変更）